

ピアノを弾く私

小坂井中・1 杉浦未桜

「本番近いんだから練習しなさい」

「分かったよう」

毎日のように練習が始まる

やる前は正直面倒くさい

やる気が起きない

朝は指が重くて

いい音が鳴らない

コト コト コト

音がもわもわしていて

イライラする自分

ピアノもまだ寝起きなのかな

日が昇ると窓から光が差す

光がピアノに反射して輝く

なんだか今日も頑張ろうと

勇気が出る

お風呂上りはすっきりする

ピアノの音もはつきりする

「さて、練習しよう」

夜は自然とやる気が出る

私は今日も練習する

この曲をかつこよく弾きたいから  
最初はぐちゃぐちゃに見える楽譜も  
いつの間にか簡単に見える  
弾けるようになってきたんだ

そのためなら何度でも  
頑張れる気がするから

7・9

本番の日

照明が当たるステージ

真っ黒なグランドピアノ

そして見渡すと

大勢の観客

鍵盤が冷たい

大きなホールで弾くピアノは

いつもの一〇〇倍響いている

心臓はバクバクだけど

自分の世界に入り込む

私の音 響いているな

気がついたら終わってた

お辞儀をして顔を上げる

ホールいっぱい拍手

温かいシャワーを浴びているようで

とても気持ちいい

頑張ってたよかったです

何度も思う

私は今日も練習する

またステージに立って

あの景色が見たいから